

[2006]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/1810694>

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2006, pp.1-, 2007-06. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：

ISSN1881-7017

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2006

九州大学附属図書館年報 2006



CONTENTS

もくじ

はじめに	2
TOPICS	3
情報リテラシー学習支援	8
展示会・講演会	9
国際交流	11
研究開発室	13
職員研修	14
統計	15
組織	21
人事	23
年間刊行物	24
図書館日誌	25



附属図書館長
有川 節夫

はじめに

国立大学は、法人化後3年を経過し、それぞれの法人としての取り組みの成果が見えるようになってきました。九州大学でも、中期目標・計画に沿った特色ある多くの改革と試みがなされ、着実に成果をあげています。九州大学附属図書館では、法人化に先駆けて平成10年度から明確な方向を設定し、数多くの改革に取り組んできました。そのほとんどがまとまった財源を必要とするもので、大学本部や学内各層の理解が得られてはじめて実現できる時間のかかるものです。

2006年度は、こうした改革の仕上げと新たな飛躍へのスタートの年でした。懸案の電子ジャーナル経費の全学共通経費化が7年に及ぶ運用と試行の結果、学内全部局と大学本部の理解のもとに実現しました。これによって、附属図書館の財政的基盤は強固になり、法人化以前に設定した図書館の大きな課題はすべて解決できたこととなります。

また、書籍のキャンパス間配送や、インターネットとwebを活用した電子的文献配送サービス(e-DDS)も本格的な稼働を始めました。機関リポジトリ(QIR)も運用を開始し、国立情報学研究所のサイバー・サイエンス・インフラストラクチュア(CSI)プロジェクト事業の委託を受けながら、持続性のある確かな事業として展開するための基盤の確立に努めています。このための著作権処理やネットワーク時代の国際化に対応するため、複数の外部資金を得て数名の職員を海外の主要な図書館に長期派遣しました。ステップアップ研修等の体系的な職員研修も始めました。さらに、図書館内で長時間滞在して学習、調査研究ができるよう中央図書館にリフレッシュルームを整備しました。ここでは、簡単な飲食ができるようになってきました。理系図書館の充実を始めとした新キャンパスの図書館の整備計画も着実に進めています。

このように、情報社会・ネットワーク社会に対応した新たなユーザー支援のための基盤整備にも力を注ぎながら、多様化するユーザーのニーズに細かく対応できる図書館へとさらに成長を続けていきたいと思っております。今後ともご理解とご支援をくださいますようお願いいたします。

Topics

九州大学学術情報リポジトリ(QIR) <http://qir.kyushu-u.ac.jp>

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)とは、本学の教育研究成果物を電子媒体でサーバに蓄積し公開するシステムで、一般的には機関リポジトリと称されています。インターネットにアクセスできる環境であれば、誰でもどこからでも自由に論文本文を閲覧することができます。平成18年4月よりQIRを公開し、平成18年度は、論文等を登録する環境を整備し、また、テクニカルレポート、プレプリントや紀要等学内刊行物の収集に努めました。さらに、機関リポジトリに関し特に先駆的な取り組みを行っているクイーンズランド工科大学(オーストラリア)へ半年間職員を派遣し、著作権処理やシステムの管理運用、コンテンツ収集等実務を担いました(詳しくは、12ページを参照)。

機関リポジトリは、国立情報学研究所も推進しており、次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業として、国内の各大学に事業を委託しています。本学もこの事業に参画し、「業績データベースとの連携」、「リンクリゾルバ対応システムの開発」、「学内各種データベースの統合検索」等のシステム開発に取り組んでいます。

業績データベースとの連携については、本学の大学評価情報

室の協力を得ながら連携の仕組みについて検討・開発を行い、「九州大学研究者情報」に登録された論文情報からQIRの論文本文へリンクするシステムを構築しました。19年度より、試行を踏まえたうえで、本格的な運用を開始する計画です。

QIR 登録コンテンツ (H19.5.24 現在)

学術雑誌論文	67件
テクニカルレポート	197件
プレプリント	77件
会議発表論文	96件
紀要論文	3,721件
学位論文	42件
その他(図書・教材等)	35件
計	4,235件

研究者情報webページからの論文参照



九州大学 Academic Staff Educational and Research Activities Database

研究者情報

研究者情報データベースの検索結果画面。検索条件「研究者名」で「Mori, Masao」を検索すると、論文リストが表示されます。リスト中の論文タイトル「Masao Mori, Tetsuya Nakatoh and Sachio Hirokawa, Functional Composition of Web Databases, The 9th International Conference on Asian Digital Libraries 2006.11」のリンク先が「FulltextQIR」で表示されています。

FulltextQIR

クリック!

「九州大学研究者情報」とは

<http://hyoka.ofc.kyushu-u.ac.jp/search/index.html>

本学教員の教育研究活動に関する情報を一般に公開しているデータベース。アクセス数は毎月10万件を超える。公開データは教員自らが入力したデータに基づいており、その入力率は99%にのぼっている。

QIRの論文ページへ

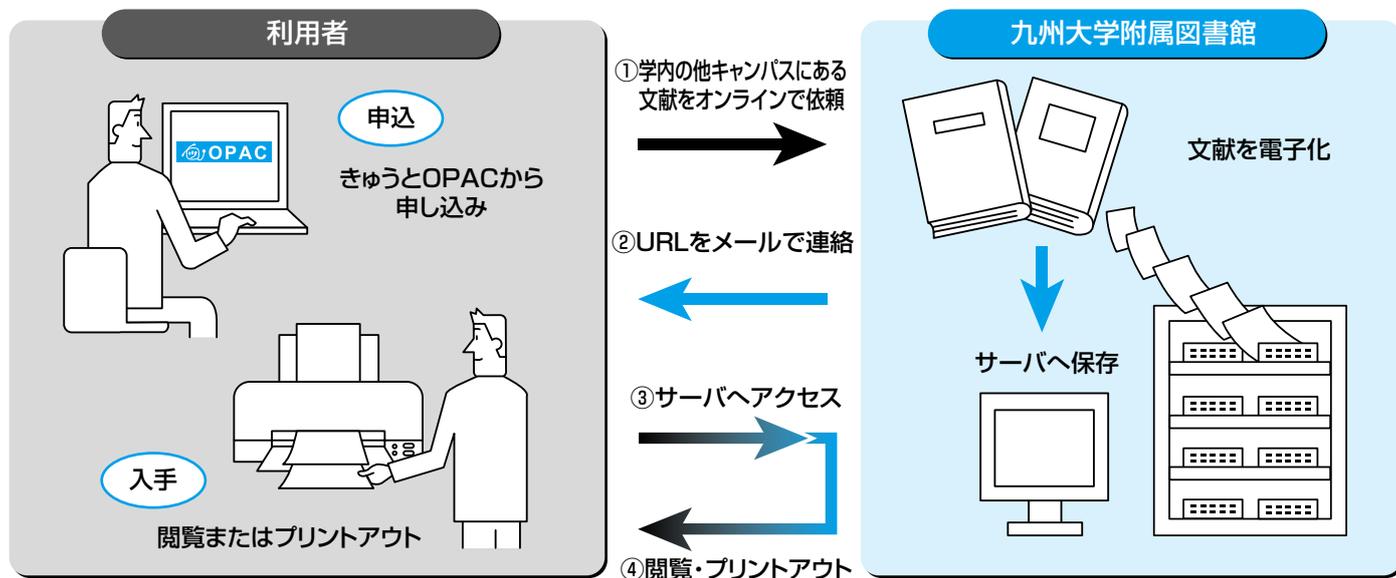
QIRの論文ページへのアクセス画面。検索結果から論文タイトル「Masao Mori, Tetsuya Nakatoh and Sachio Hirokawa, Functional Composition of Web Databases, The 9th International Conference on Asian Digital Libraries 2006.11」を選択すると、論文本文のダウンロードページが表示されます。このページには、論文のタイトル、著者名、著者情報、およびダウンロードリンクが提供されています。

e-DDS サービス(Electronic Document Delivery Service) の本運用を開始

e-DDSサービスとは、複写申し込みのあった文献を、従来の紙媒体でなく電子的ファイルで提供するもので、平成18年2月に中央図書館において試行運用を行い、平成18年11月より全学的に運用を開始しました。利用者は、オンラインで複写申し込み

をした学内所蔵文献を、メールで通知されたURLからアクセスして、Web上で閲覧・プリントアウトすることができます。

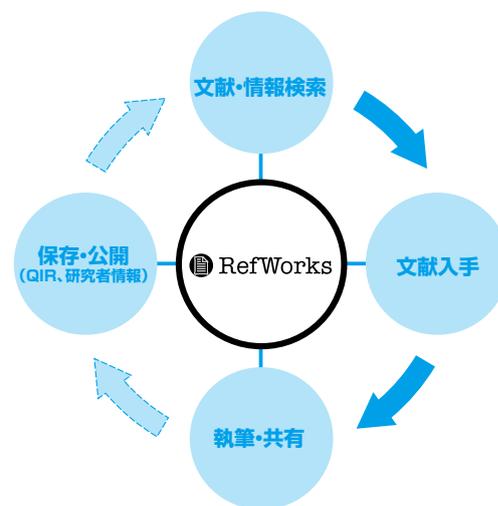
このように、利用者は図書館に足を運ぶことなく文献を入手できるようになり、入手までの時間が大幅に短縮されました。



文献管理ツール「RefWorks」を導入

平成19年1月、Webベースの文献管理ツール「RefWorks」を導入しました。「RefWorks」とは、ユーザーが個々のアカウントを持ち、収集した文献情報をWeb上で管理・加工・共有できるものです。各種データベースの検索結果から文献情報を取り込んで作成したオリジナル文献リストからは、論文の参考文献リストの自動作成や、フルテキストへのアクセス等ができます。昨年度のリンクリゾルバ「きゅうとLinQ」導入に続き、「RefWorks」を導入することによって、図書館が従来行ってきた文献検索・提供サービスに加え、Web上の学習・研究活動を総合的にサポートできるようになりました。

今後は、本学の研究者情報(研究者情報データベース)、QIR(機関リポジトリ)などとの連携により、各サービスやデータベースがシームレスに結合する利用環境を目指します。



きゅうと LinQ の拡張

平成17年度に先駆的に導入した九大のリンクリゾルバ「きゅうとLinQ」について、18年度は、機能を拡張する一方で、各方面への働きかけにより、国内の文献データベースや電子ジャーナルのリンクリゾルバ対応を実現し、国内文献の流通に大きく寄与しました。

18年度の機能拡張と活動は、以下のとおりです。

- ・オンライン文献複写・現物貸借申込画面への自動データ流し込みを実装し、利用者のデータ入力負荷を大幅に軽減した。

- ・国立情報学研究所に対して OpenURL に関する技術支援を行い、同研究所が提供する国内文献データベース CiNii(サイニイ)からリンクリゾルバを通じた一次文献入手を実現させた。
- ・同研究所及びリンクリゾルバ提供ベンダーに働きかけ、国内電子ジャーナル(CiNii、メディカルオンライン)がリンクリゾルバを通じて入手できるようにした。
- ・AIRway プロジェクトに参画し、リンクリゾルバを使った機関リポジトリ登録文献へのアクセスを実現した。

Topics

中央図書館にリフレッシュルームオープン

平成19年3月、中央図書館2階に、自動販売機を設置した「リフレッシュルーム」を開設しました。図書館における長時間の学習・研究をサポートするために、館内で飲食をしながらリラックスできる空間を提供しようとするものです。これに伴って、従来全面的に禁止していた飲食についてルールを見直し、リフレッシュルーム内での飲食と、閲覧室へのペットボトル等の持ち込みができるようになりました。



医学分館の患者・家族支援サービス開始

医学分館では、インフォームド・コンセントやセカンド・オピニオンなどに関連し、正確な医学・医療情報を求めている本学病院の患者・家族への医療情報提供サービスを開始しました。これは市民への大学図書館開放の一環として、患者・家族が情報入手するための時間・労力・経済的負担の軽減を図るために実施したものです。平成18年6月から実施し、年度中に500名以上の患者・家族がサービスを利用しました。

実施方針・体制は以下のとおりです。

- ・医学分館閲覧係と参考調査係で患者サービスチームを組織し複数人で対応する
- ・提供する情報はチームで吟味する
- ・医療現場と医学情報の仲立ちを厳格に守る
 - ①医学的アドバイスはしない
 - ②調査及び検索結果についての疑問等は主治医へ向けさせる
- ・病院及び医療相談室等との連携調整を図る
- ・プライバシーを守るため情報提供時の館内環境に配慮する
- ・広報として病院内へポスター等の掲示を行う

医学分館 24 時間開館サービスの対象者拡大

医学分館では、これまで病院地区に在学・在職する5年生以上の学生及び教職員の希望者に磁気カードを配布し、24時間いつでも入館できるようにしていましたが、セキュリティを強化

するためICカードに切り替え、学生の対象者を全学年へ拡大しました。

危機管理マニュアルを策定

平成18年度の年度計画として、長時間開館の実施に向けた体制の整備を掲げ、その具体策のひとつとして、長時間開館に伴う事故等の発生に備えた「危機・安全管理マニュアル」を策定しました。

まず正規職員が不在となる夜間・休日開館時の利用者の安全を最優先に確保するため、「附属図書館安全管理マニュアル(中

央図書館-夜間開館・休日開館)」を作成しました。このマニュアルの中で、安全対策上の問題点を洗い出し、管理体制を整備するとともに、図書館施設、個人情報及びネットワーク等における事故、犯罪、災害時の対応を具体的に示しています。今後さらに分館版、通常開館時版を作成する予定です。

電子ジャーナル経費の全学共通経費化を実現

平成19年度からの実施に向けて、17年度に電子ジャーナル等検討専門委員会の下に専門部会を設置し、電子ジャーナルパッケージ契約維持に必要な総額を全学共通経費化すること、契約形態を電子オンリー契約に移行してプリント版の購読維持義務を廃止すること、などを提言した「第2次専門部会報告書」を作成しました。

「報告書」の方針は、18年6月の附属図書館商議委員会で承

認された後、財務委員会、予算管理委員会において、「平成19年度大学運営経費等配分計画」により電子ジャーナル経費4.3億円の全学共通経費化が承認されました。

これにより、大学にとって基本的かつ重要な学術情報資源である電子ジャーナルの財政基盤が確立し、安定的な供給および効率的な運用が可能となりました。

理系図書館の第Ⅰ期移転完了と第Ⅱ期移転に向けて

伊都地区への工学系部局の移転が完了し、理系図書館第Ⅰ期が完成形としてのサービスを開始しました。サービス対象は約4300名、蔵書冊数は約40万冊です。移転に伴って、資料の自動書庫入庫作業も実施し、平成18年度末時点で自動書庫の収容冊数は約24万冊となりました。

また、18年9月、六本松地区の伊都地区への直接移転が決定したことにより、理系図書館の第Ⅱ期増築工事(2~3階)が行われることとなりました。21年4月からは、全学教育を含め約1万名をサービス対象とする図書館として、新たなサービスを開始することになります。

館報「きゅうとNEWSLETTER」を創刊

平成18年12月、附属図書館報「図書館情報」を全面リニューアルし、「きゅうとNEWSLETTER」を発刊しました。「つなぐ」をコンセプトに、学生を主なターゲットとして、利用者が図書館をより身近に感じられる、利用者同士がお互いを身近に感じられる誌面を目指しています。

「きゅうとNEWSLETTER」の特徴は以下のとおりです。

- ・タイムリーな情報提供と、図書館サービスをより身近に感じてもらえるよう、発行頻度を隔月刊とした(従来年3回)。
- ・利用者に手に取ってもらえるよう、写真や図を多く入れたカラフルな誌面にし、かつ全体のボリュームを抑えた。
- ・「つなぐ」のコンセプトに沿い、学生からの投稿記事や図書館員のコラムを掲載。

今後は、より多くの利用者に届けられるよう配布方法を工夫するとともに、学生や教員とも連携し、さらなる内容の充実を図っていきます。



Topics

広報誌全面リニューアル — 要覧と年報 —

前述の「きゅうとNEWSLETTER」を含め、平成18年度は、附属図書館が発行する広報誌を全面的にリニューアルしました。

リニューアルのコンセプトと概要は、以下のとおりです。

【コンセプト】

- ・読者を明確にした内容・デザインに再構成する。
- ・発行業務の効率化と効果的なコスト配分を図る。

【概要】

- ・従来の『附属図書館要覧』（年刊）を、『附属図書館要覧』（2-3年毎）と『附属図書館年報』（年刊）に分けた。
- ・『附属図書館要覧』は、図書館の概要を視覚的に伝えるものとして写真を多く用いた。また、海外への広報も考慮し、完全英文併記とした。2-3年ごとに、改訂する。
- ・『附属図書館年報』は、1年間の活動報告と位置づけ、年間の主な活動を網羅し、かつデータに基づく記述とした。
- ・学外への配布を年1回まとめて行い、配布にかかる経費を抑えるとともに、ポリウムによるインパクトを与えることとした。



内容を再構成したことで、国内外での図書館の概要説明、学内外への活動報告等が的確かつ容易になり、広報活動に効果を上げています。

きゅうとステップアップ研修開始

図書館専門職員としての知識の深化及び能力・資質の向上を図るため、図書館職員を対象とした研修プログラム「きゅうとステップアップ研修」を開始しました。個人の能力開発に加えて、組織的にも課題解決へ発展させていくことを目的としています。

この研修では、図書館職員や本学教員、外部ベンダー等が講師を務め、ゼミ形式によるディスカッションや事前課題の出題など達成目標に応じた方法をとることで、より実質的な成果をあげています。今後も時機に応じたカリキュラムを構成し、大学図書館をとりまくめまぐるしい環境変化に対応できる図書館職員の資質向上を目指します。

(18年度実施のプログラムの詳細については、14ページを参照)

きゅうとステップアップ研修の構成は、以下のとおりです。

■知ろう!きゅうとサービス・コンテンツ

目的:九州大学附属図書館の提供するサービス、所有するコンテンツについて広く理解することで、専門職員としての日々の業務をより一層深化させるとともに、九大図書

館の職員としての意識を向上させる。

- ・情報検索から入手まで
- ・九大所蔵のコレクション概説 など

■サブジェクトライブラリアン序説

目的:図書館専門職員として必要な基礎知識・技術を習得し、知識の深化及び能力・資質の向上を図るとともに、サブジェクトライブラリアンとしてより専門性を高めるための動機付けとする。

- ・図書館Web勉強会
- ・ラテン語古刊本書誌作成研修会
- ・漢籍講習会 など

■TOPICS

目的:図書館の旬な事柄について、進捗状況を報告し、今後の展望についての共通の理解を深める。

海外大学図書館等へ長期研修派遣

平成17年度のソウル大学校客員図書館員の受入に続き、18年度は、外部資金や競争的資金によって、海外の大学図書館等へ3名の職員を派遣しました(オーストラリア:クィーンズランド工科大学6ヶ月、カナダ:トロント大学3ヶ月、フィリピン:アテネ

オ・デ・マニラ大学2ヶ月)。派遣先では、業務交流を行うとともに各々の課題に沿った実務に従事しました(詳しくは、12ページを参照)。

情報リテラシー学習支援

利用者が学習・研究を行う上で、必要な文献や情報を効率的に探し出し活用できるよう、情報基盤センターとの共催で、様々な講習会を開催しています。平成18年度は、受講者数が伸び悩んでいた定期講習会に代わって、新入生を対象とした全学教育科目(コアセミナー)を利用した講習会を取り入れました。今後も、利用者のニーズやレベルに合わせた講習会や、学習・研究支援を企画・実施します。

企画講習会

図書館側で日程、内容を設定し、利用者に呼びかけて行うもので、ベンダーによる、特定データベースについての詳細な利用説明を行う方法を多く取り入れています。平成18年度は、初めて伊都キャンパス、筑紫キャンパスでも開催し、大学院生や教職員を中心に参加がありました。

平成18(2006)年度実績

会場	企画講習会		オンデマンド講習会		コアセミナー		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
箱崎地区	6	82	9	120	10	221	25	423
病院地区	1	17	12	382			13	399
大橋地区	3	18					3	18
筑紫地区	1	24					1	24
六本松地区			1	3	5	180	6	183
伊都地区	2	34					2	34
文系地区			1	18			1	18
計	13	175	23	523	15	401	51	1099

オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程、内容等を設定し、図書館職員が講師となって行うもので、平成15年度から実施しています。ほとんどが授業の一環として行われており、同じゼミや授業科目から毎年依頼を受けることも多く、情報リテラシー学習支援として重要な活動になっています。今後、さらに内容を充実させ、体制を強化しながら利用促進を図る予定です。

コアセミナー

全学教育科目の一つであるコアセミナーの講義時間を使って、新入生に図書館活用法を案内するもので、内容はOPAC、Webcat Plus、きゅうとMyLibraryの使い方と館内ツアーが中心です。平成18年度は試行的な取り組みでしたが、19年度からは、部局単位でより広範に実施する予定です。

会場	教務員	院生	学生	学内者その他	学外者	計
箱崎地区	34	40	339	8	2	423
病院地区	11	35	297	11	45	399
大橋地区	0	13	1	4		18
筑紫地区	3	21		0		24
六本松地区	0		183	0		183
伊都地区	18	11	4	1		34
文系地区	5	13		0		18
計	71	133	824	24	47	1099

企画講習会

内容	地区	回数	人数
Web of Knowledge講習会	箱崎	2	37
	伊都	1	14
Scopus講習会	箱崎	2	39
	伊都	1	20
SciFinder Scholar講習会	箱崎	2	6
	筑紫	1	24
	病院	1	17
OPAC/Webcat/相互利用	大橋	1	6
国内文献の探し方 CiNii/NDL-OPAC	大橋	1	8
九大で利用可能なDBの紹介	大橋	1	4
合計		13	175

コアセミナー

日付	内容	対象	地区	人数
4/11	OPAC、図書の探し方、雑誌論文の探し方	理学部(地惑)1年	箱崎	25
4/18	OPAC、図書の探し方、雑誌論文の探し方	理学部(地惑)1年	箱崎	25
4/24	OPAC、MyLibrary、館内ツアー	人間環境(文)1年	箱崎	20
4/24	OPAC、館内ツアー	文学部1年	箱崎	20
4/27	OPAC、館内ツアー	経済学部1年	箱崎	28
4/27	OPAC、館内ツアー	農学部1年	箱崎	17
5/1	OPAC、館内ツアー	文学部1年	箱崎	20
5/8	OPAC、館内ツアー	文学部1年	箱崎	20
5/22	OPAC、図書の探し方、館内ツアー	文学部1年	箱崎	22
5/22	図書の探し方、CiNii、館内ツアー	情報学講座・学部1年	六本松	23
5/29	図書の探し方、CiNii、館内ツアー	情報学講座・学部1年	六本松	25
6/22	OPAC、資料入手法、館内ツアー	経済学部1年	箱崎	24
10/27	図書館Webサイト、MyLibrary、きゅうとLinQ	理系コア科目・学部1年	六本松	55
11/10	OPAC、図書の探し方、CiNii、館内ツアー	情報学講座・学部1年	六本松	44
11/24	OPAC、図書の探し方、CiNii、館内ツアー	情報学講座・学部1年	六本松	33
合計				401

オンデマンド講習会

日付	内容	対象	地区	人数
4/11	図書館の基本的な使い方、CiNii	経済学部2年(授業)	箱崎	7
4/11	医学中央雑誌、雑誌論文の探し方、PubMed、Ovid MEDLINE、OPAC	生体情報学4年生ヘータベース操作説明(授業)	病院	10
4/18	OPAC、MyLibrary、JLL、CiNii、経済有価証券報告書、EBSCO	経済学部ビジネススクール	文系	18
5/12	OPAC、Webcat、図書・雑誌の探し方	経済学部3/4年・院生(授業)	箱崎	15
5/16	OPAC、Webcat、CiNii、閲覧	法学部2年(授業)	箱崎	15
5/16	Webcat Plus、OPAC、館内ツアー	農学部3年(授業)	箱崎	19
5/16	MEDLINE、OPAC、PubMed	歯学教育研修コース JICA	病院	10
5/26	CiNii、OPAC、ネットで百科、Google、閲覧、Lexis Nexis、農政経済関連Web、相互利用	農学部3年(授業)	箱崎	26
6/6	OPAC、雑誌論文の探し方、CiNii、MyLibrary	法学部2年(授業)	箱崎	8
6/12	医学中央雑誌、Ovid MEDLINE、OPAC、PubMed	発達看護学、看護学生(授業)	病院	19
6/22	医学中央雑誌、Ovid MEDLINE、OPAC、PubMed	看護教員養成講習会(授業)	病院	45
6/28	医学中央雑誌、Ovid MEDLINE、OPAC、PubMed	看護学専攻(授業)	病院	11
7/13	医学中央雑誌、Ovid MEDLINE、OPAC、PubMed	看護学専攻(授業)	病院	1
7/26	医学中央雑誌、Ovid MEDLINE、OPAC、PubMed	看護学専攻(授業)	病院	10
9/1	各種データベースの紹介等、OPAC、EJ、OVID MEDLINE、PubMed	医療経営管理専攻専門職学位課程(修士・医学科4年生(授業))	病院	110
9/4	CiNii、GeNii、KAKEN等	情報学講座・学部1年(授業)	六本松	3
11/10	Web of Science	理学部(生物)3年(授業)	箱崎	15
11/28	Web of Science、JCR	保健学科2年生(授業)	病院	145
12/12	CiNii、MyLibrary、館内ツアー	経済学部2年(授業)	箱崎	7
1/12	Web of Science	理学部(生物)3年(授業)	箱崎	8
2/15	雑誌論文を探すツール、OPAC、PubMed、電子ジャーナル、RefWorks等	生体情報学4年生ヘータベース操作説明(授業)	病院	7
2/27	図書、雑誌の探し方、各種データベースの利用方法等、医学中央雑誌、雑誌論文の探し方、PubMed、MEDLINE、OPAC	医療システム学大学院生・教員(授業)	病院	8
2/28	図書、雑誌の探し方、各種データベースの利用方法等、医学中央雑誌、雑誌論文の探し方、PubMed、MEDLINE、OPAC	医療経営管理専攻修士学生データベース操作説明(授業)	病院	6
合計				523

展示会・講演会

第47回附属図書館貴重文物展示会「記憶と記録—炭鉱(やま)は生きる—」

【期間】平成18年5月11日(木)～5月18日(木) 【会場】中央図書館 2階特設展示会場 【入場者数】約350名

◆関連公開講演会

「炭鉱(やま)は生きる—石炭資料が語り継ぐ—」

【日時】平成18年5月14日(日) 【会場】中央図書館 4階視聴覚ホール
【講師】三輪宗弘(九州大学附属図書館付設記録資料館 教授)

◆関連映画上映会

「炭鉱(ヤマ)に生きる」(山本作兵衛の筑豊絵巻)

【日時】平成18年5月14日(日) 【会場】中央図書館 4階視聴覚ホール
【入場者数】約100名

平成18年4月の附属図書館付設記録資料館の設立を記念し、九州大学開学記念行事の一つとして行われた同展示会は、記録資料館・産業経済資料部門(旧石炭研究資料センター)の所蔵する膨大な石炭関係資料の中から、炭鉱の「日々の生活」に密着したものを厳選、展示し、石炭から石油へのエネルギー転換に伴う「エネルギー革命」で炭鉱閉山があいついだ厳しい時代を「懐かしい記憶」として蘇らせた。



六本松分館

「旧玉泉館所蔵考古資料・原爆被害調査報告書展示会」

【期間】平成18年5月11日(木)～14日(日)
【会場】六本松分館2F自由閲覧室およびブラウジングルーム

六本松分館では、旧玉泉館の考古学資料を常設展示しています。玉泉館とは、六本松キャンパス・教養部の前身である旧制福岡高等学校に設置された歴史地理資料室です。これらの資料と、檜垣文庫の最終整理中(平成17年冬)に発見された、文部省学術研究会議原子爆弾災害調査研究特別委員会による「原子爆弾災害調査研究報告(未定稿)」ほか全3点を、九州大学開学記念行事の一環として展示しました。

九州大学附属図書館・福岡県立図書館共同展示会

「熱き時代—アーカイブでよみがえる炭鉱(やま)—」

【期間】平成19年2月15日(木)～2月20日(火) 【会場】アクロス福岡 2階 交流ギャラリー
【主催】九州大学附属図書館、福岡県立図書館 【共催】(財)アクロス福岡
【後援】福岡県図書館協会 【協力】福岡市総合図書館

◆関連公開講演会

「炭鉱って何だったのだろうか—わたしの筑豊—」

【日時】平成19年2月18日(日) 【会場】アクロス福岡 1階円形ホール
【講師】荻野喜弘(九州大学附属図書館付設記録資料館 館長)

◆関連映画上映会

「炭鉱(ヤマ)に生きる」(山本作兵衛の筑豊絵巻)(2004年 70分) 「海底炭鉱に生きる 池島からの報告」(1983年 54分)

【日時】平成19年2月22日(木)～25日(日) 【会場】福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

同展示会では、九州大学附属図書館付設記録資料館が所蔵する石炭関係資料(石炭標本や採炭道具、各種記録資料など)と福岡県立図書館が所蔵する書籍を中心とした炭鉱関連資料を展示し、我が国の近代化を支えた石炭産業について福岡の炭鉱を中心に紹介しました。

会場では、絵葉書などを直接手にとってゆっくり閲覧できるようにし、炭鉱関連のビデオ放映なども行いました。会場のアンケートでは、普段目にするこのない貴重資料を見ることができたという喜びの声や、自分の暮らす土地に存在した未知の事実に驚く声など、様々な感想が寄せられたほか、来場者の方からの炭鉱関連資料の寄贈申し込みなどもあり、関心の高さが伺える展示会となりました。



講演会「Privacy and the Internet デジタル時代の知的財産保護と知る権利—アメリカと日本の図書館で—」

【日 時】平成18年8月29日(火) 13:30~17:00 【会 場】中央図書館4階視聴覚ホール
【主 催】在福岡米国領事館広報部福岡アメリカン・センター、九州大学附属図書館、九州大学情報基盤センター
【後 援】九州地区国立大学図書館協会、福岡県図書館協会
【講 演】◎Intellectual Property Rights and Cyberspace
ジェームス・ニール(コロンビア大学図書館長、インフォメーションサービス部長)
◎Intellectual Freedom in Cyberspace
バーバラ・ジョーンズ(ウェスリアン大学 カレブ・T・ウィンチェスター大学図書館長)
◎PID: プライバシーを考慮したIDマネージメントシステム
池田大輔(九州大学システム情報科学研究院助教授)
※通訳付

【パネルディスカッション】

司会: 荒木啓二郎(九州大学システム情報科学研究院教授、附属図書館副館長)
論者: ジェームス・ニール、バーバラ・ジョーンズ、池田大輔

同講演会は、高度デジタル情報化時代における喫緊の問題である「知的財産保護」と「知る権利」について、双方の調和点を探り、方向性を見出していくために企画され、学内の情報担当部署や近隣の大学・公共図書館の職員など60名近い参加がありました。

3名による講演のあと、参加者の質問に答える形でパネルディスカッションが行われ、特にアメリカの図書館での取り組みについて質問が投げかけられました。



学術情報セミナー「Web 時代の学術情報利用環境を考える」

【日 時】平成18年10月6日(金) 13:00~17:00 【会 場】中央図書館4階視聴覚ホール
【主 催】九州大学附属図書館 【後 援】九州地区大学図書館協議会、中国四国地区国立大学図書館協会、エルゼビア・ジャパン
【講 演】◎アメリカの図書館におけるダイナミズムと活力の源泉
竹内 比呂也(千葉大学文学部助教授)
◎きゅうとLinQ(リンクリソルバ)の取り組み
片岡 真(九州大学附属図書館)
◎電子ジャーナルの利用傾向と新しいScienceDirect
高橋 昭治(エルゼビア・ジャパン)
◎早稲田大学の取り組み
荘司 雅之(早稲田大学図書館)
◎Web製品のユーザビリティの向上について
◎ScopusとWebの融合
足立 泰(エルゼビア・ジャパン)

同セミナーは、Web時代が本格化し学術情報の利用環境が大きく変わる中、今後の図書館サービスの構築のあり方を考えるために企画したもので、九州地区・中国四国地区の大学図書館関係者を中心に80名を超える参加がありました。

講演では、各大学の先進的な取り組みや、学術情報の利用に関する様々な調査・分析が紹介され、来場者は熱心に耳を傾けていました。このセミナーで、利用環境の整備がユーザーの学術情報入手に大

きな差を生むとの認識を新たにし、図書館がユーザーをいかにして学術情報へナビゲートするか、今後の図書館サービスの方向性を示唆するものとなりました。

また、質疑応答やセミナー後の懇親会では、出席者間で活発な意見交換がなされ、図書館サービスの再構築という課題に対する意識の高さが伺えました。

中央図書館常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーで、平成18年度は以下の展示を行いました。

●企画展示「第6代総長荒川文六展」(H18.7.14-8.10)

大学文書館の協力を得て、大学文書館所蔵・荒川文六関係資料の展示を行いました。

荒川文六(1878~1970)は、1911年、九州帝国大学の創立と同時に工科大学教授となり、1936年に本学の第6代総長(~1945年)に就任。電気工学の権威で、九大フィルハーモニー会員としても知られています。

今回は、荒川文六氏の孫である荒川和生氏より寄贈されたものを中心とした所蔵資料の一部を展示しました。

●企画展示「絵巻展」

附属図書館が所蔵する貴重な絵巻を中心に展示しました。

- ・第1回(H18.8.24-9.8):『うつほ物語』『職人尽』
- ・第2回(H18.9.22-10.6):『北野天神縁起絵巻』『酒吞童子絵詞』
- ・第3回(H18.11.2-11.17):『御曹司島渡り』『源氏物語絵巻(複製)』
- ・第4回(H19.3.5-3.18):『源氏物語歌絵』『竹取物語絵巻』

●企画展示「あ~そうだった!—江戸時代の医学書に見る健康志向—」(H18.11.28-12.25)

医学分館所蔵の和漢古医書を、人文科学研究院の田村隆専門研究員の協力で、医学分館との共同企画展示として実施しました。

●「熱き時代—アーカイブでよみがえる炭鉱(やま)—」(H19.1.22-2.20)

アクロス福岡での展示に先立って予告展示を行いました。

国際交流

日韓国際シンポジウム「本が繋ぐ近い都市（まち）：日韓図書館交流 2006」

- 【日 時】平成18年8月17日(木) 13:00-17:00
 【場 所】釜山国立大学校仁徳館
 【主 催】日韓図書館交流2006実行委員会(九州大学附属図書館)・九州大学・釜山国立大学校
 【後 援】福岡県図書館協会
 【助 成】(財)日韓文化交流基金

Program

開会挨拶

- ・朴鍾喜(釜山国立大学校図書館長)
- ・有川節夫(九州大学附属図書館長、九州大学理事・副学長)

特別講義

- 『朝鮮時代の韓日交流の窓口、釜山』
 ・金東哲(釜山国立大学校韓国民族文化研究所長)

公共図書館の事例報告

- 『子ども読書推進の動向と福岡県立図書館の児童サービス
 -公共図書館と学校との連携の視点から-』
 ・河井律子(福岡県立図書館企画協力課長)
- 『学父母のための選択と集中化された生涯教育プログラムの運営』
 ・鄭元佑(釜山広域市立市民図書館生涯学習係長)

大学図書館の事例報告

- 『法人化後の国立大学図書館の社会貢献活動
 -九州大学附属図書館の事例-』
 ・兵藤健志(九州大学附属図書館医学分館司書)
- 『釜山大学図書館の地域開放の事例』
 ・林貞姫(釜山国立大学校図書館司書)

学校図書館の事例報告

- 『福岡市の小学校における図書館活動-福岡市立那珂小学校の事例-』
 ・佐伯まゆみ(福岡市那珂小学校教諭)
- 『学校図書館の地域社会文化センター化』
 ・金貞南(釜山広域市教育庁司書)

質疑応答・総括討議

- 進行: 金正南(釜山国立大学校図書館司書)

シンポジウム後、交流会



平成17年10月にアクロス福岡(福岡市)にて開催した第1回に続き、第2回国際シンポジウム『本が繋ぐ近い都市(まち):日韓図書館交流2006』を大韓民国の釜山国立大学校で開催しました。

この国際シンポジウムは、日韓の文化交流・学術交流を図書館サイドから支援することについて様々な観点から議論しようとするもので、福岡市と釜山市の図書館関係者、学生、市民などが参加しました。

今回は福岡と釜山双方の公共図書館・学校図書館・大学図書館から、地域社会と積極的に関わり市民の生涯教育の支援に努力している事例についての報告があり、その後、さらに具体的で実質的な図書館協力のあり方についての意見交換が行われるなど、今後の新しい図書館協力の方向を考えるためにも有意義なシンポジウムとなりました。

このシンポジウムの内容は、『国際シンポジウム「本が繋ぐ近い都市(まち):日韓図書館交流2006」報告書』(九州大学附属図書館2006.12)にまとめられています。

図書館間交流協定

九州大学附属図書館は、ソウル大学校中央図書館、慶北大学校中央図書館、台湾大学図書館と図書館間交流協定を結び、相互の図書館利用、刊行物の交換、共同開発計画、図書館職員の交流等を行っています。

◆交流協定図書館訪問

- ・台湾大学図書館
 【訪問者】松原 孝俊(韓国研究センター教授・附属図書館研究開発室員)
 山根 泰志(附属図書館コンテンツ整備課)
 【日 程】平成18年7月25日～7月27日
 【目 的】台湾大学善本目録作成等に関する調査のため
- ・ソウル大学校図書館
 【訪問者】有川 節夫(附属図書館長)、荒木 啓二郎(副館長)
 【日 程】平成18年8月25日
 【目 的】ソウル大学校新図書館長表敬訪問

◆交流協定図書館との資料交換(平成18年度)

- ・九州大学→ソウル大学校
 九州大学出版会図書43冊を寄贈
- ・ソウル大学校→九州大学
 ソウル大学校奎章閣図書45冊を受贈
 ソウル大学校出版会図書56冊を受贈

海外長期研修

外部資金を得て海外大学の図書館へ職員を長期派遣し、業務に携わりながら各大学の先進的な取り組み等について学びました。

オーストラリア

【研修者】星子奈美(附属図書館コンテンツ整備課)

【期間】平成18年8月31日～平成19年2月28日

【研修先】Queensland University of Technology(QUT)

(他の訪問先) Griffith University

The University of Sydney

The University of New South Wales

The University of Queensland

【事業名】国立情報学研究所の次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業

【研修内容】オーストラリアのQueensland University of Technology(QUT)における、機関リポジトリの先進的な取り組みを学ぶため、6か月間にわたり、QUT図書館でのリポジトリアイテム登録業務や著作権処理、広報活動、システム移行準備等の実務に携わった。また、機関リポジトリと関連する業務である、学位論文の電子化にも従事した。更に、シドニーやブリスベンの複数の大学図書館を訪問し、各大学のリポジトリ業務の特徴を比較したり、2007年2月に開催されたAustralian Library and Information Associationの会議に出席し、オーストラリアの大学図書館での最新動向を調査するなどの活動をおこなった。



カナダ

【研修者】片岡 真(附属図書館利用支援課)

【期間】平成18年12月1日～平成19年2月28日

【研修先】University of Toronto Libraries

【事業名】エルゼビア・ジャパンの図書館員国際研修プログラム

【研修内容】北米で有数の規模を誇り、利用者志向の先進的電子図書館で知られるトロント大学図書館に滞在し、以下について学んだ。

- ・情報技術サービス部門(ITS)について
- ・電子ジャーナル、文献データベースのローカルロードとScholars Portal Searchによる統合検索
- ・オンタリオ州20大学のコンソーシアムによる一括コンテンツ契約
- ・電子ブック拡充と統合プラットフォーム導入に向けた取り組み
- ・Open Contents Allianceによる著作権切れ図書のデジタル化
- ・機関リポジトリ、電子ジャーナル出版システム、学会会議システムの提供
- ・リエゾンライブラリアンの取り組み

また、電子リソースのリンクメンテナンス業務に従事し、電子コンテンツの契約、アクティベーション、利用者提供の流れを体験した。



フィリピン

【研修者】兵藤健志(附属図書館医学分館)

【期間】平成19年1月8日～3月2日

【研修先】Ateneo de Manila University

【事業名】日本学術振興会・科学技術国際交流センターの大学国際戦略本部強化事業

【研修内容】国際感覚の養成および英語力の向上を目的として、フィリピンのAteneo de Manila Universityで研修を受講した。まず、英語研修として、同大学内のAteneo Language Learning Centerで7週間の語学プログラムを受講した。次に、1週間にわたり同大学のThe Rizal Libraryで図書業務全般に関する情報交換および実務研修を受けた。このほか、University PressおよびProfessional Schools Libraryの業務責任者へインタビューやフィリピンで唯一の国立大学であるUniversity of the Philippinesの図書館を見学する機会を得た。



海外との往来

－往訪－

◆アメリカ合衆国の大学図書館等

【訪問者】甲斐 重武(附属図書館利用支援課長)

【日程】平成18年11月16日～11月24日

【訪問先】University of Michigan, The University of Georgia ほか

◆オーストラリアの大学図書館等

【訪問者】海津 佳寿美(附属図書館図書館企画課)

【日程】平成19年2月4日～2月9日

【訪問先】The University of Sydney, The University of Queensland ほか

◆アメリカ合衆国の大学図書館等

【訪問者】井上 創造(附属図書館研究開発室助教授)

【日程】平成19年3月26日～3月27日

【訪問先】University of Massachusetts Amherst

－来訪－

◆中国 陝西師範大学(5名)

平成18年6月6日 中央図書館の見学

◆中国 新疆大学管理層訪日研修交流団(36名)

平成18年11月28日 中央図書館の見学

◆ニュージーランド ビクトリア大学助教授 他1名

平成19年3月2日 理系図書館の見学、中央図書館においてインタビュー調査

研究開発室

18年度の研究開発活動の概観

研究開発室が附属図書館の常置組織となつて一年目の平成18年度、下表の研究開発事項について、活動が行われました。17年度より若手図書館職員が個々の研究開発事項に関わり、18年度はシステムの仕様検討や調査同行など、具体的な取り組みへと発展しました。

研究開発室の専任教員である池田大輔助教授が18年7月末でシステム情報科学研究院に移り、10月、後任として井上創造助教授(現在は准教授)が就任しました。後掲のとおり、全学共通ICカードシステムを活用した種々の研究活動を展開しています。

昨年度リニューアルした『研究開発室年報2005/2006』は、多くの論文・報告が寄稿され、より充実した内容となっています。

活動の詳細は、『附属図書館研究開発室年報2006/2007』として発行します。

ICカードの利用シーン拡大

昨年度に引き続き、全学共通ICカード*1を活用するための実践実験に取り組みました。本学が開発したICカードシステムは、利用者の権限の一部または全部を携帯電話やUSBメモリにも持たせることができるという、メディアに依存しない(Media Independent)

ように進化させたものです。18年度は理系図書館において、貸出端末、入館ゲート、自動貸出機、コピー機をICカードに対応させました。また、移動型のカフェを設置し、その支払いをICカードで行う実験を行いました。

*1 <http://www.miid.kyushu-u.ac.jp/>

九大 SNS の試行開始

上記のICカード活動とも関連して、福岡地域限定のSNS*2であるVARRY*3と連携し、九州大学に所属する人同士のつながりをサポートする会員制のWebサービスをスタートしました*4。この研究活動では、SNSサービスを利用者と図書館双方向のコミュニケーションを図る場とする可能性を探っています。通常のSNSと同様に友達やコミュニティを作り、情報交換できるほか、九州大学所属者には九大のロゴが表示され、所属者同士では本名を確認できるといった独自の機能を付加しており、信ぴょう性が問われつつあるSNS界にひとつの解を与える新技術となっています。

*2 SNS(Social Networking Service):メンバー間でWeb ページ上で交流できる会員制サービス。GREEやmixi が代表格

*3 VARRY(バイリー):福岡のカプセルコーポレーション社が運営。会員数約5000人

*4 <http://sns.lib.kyushu-u.ac.jp/>

平成18年度研究開発室研究開発事項

総括

研究開発の総括	有川 節夫(附属図書館長、理事・副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------

I 将来計画に関する分野

統合移転後の新図書館計画に関する調査研究	平井 康之(芸術工学研究院助教授)	元岡地区新キャンパスに計画する新図書館について、建築及び設備の面から、理想的な大学図書館を建設するための調査研究を行う。
海外の大学図書館に関する調査研究	松原 孝俊(韓国研究センター教授)	海外、特にアジア諸国の大学図書館との図書館間交流の推進についての調査研究を行う。
図書館職員の専門性育成に関する調査研究	竹村 則行(人文科学研究院教授) 西村 重雄(法学研究院教授)	図書館職員の専門性について明らかにし、その育成方法について調査研究するとともに、本学におけるサブジェクト・ライブラリアン制度のあるべき姿について調査研究を行う。

II 電子図書館システムに関する分野

電子図書館システムの研究開発	荒木啓二郎(附属図書館副館長、システム情報科学研究院教授) 廣川佐千男(情報基盤センター教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院助教授) 井上 創造(研究開発室助教授) 南 俊朗(研究開発室特別研究員 九州情報大学教授)	電子図書館システムのための基礎技術及び実用化に関する調査研究を行う。特に、RFIDタグを利用した図書館の自動化に関する研究、e-Learningシステムの環境整備に関する研究、各種の検索システムに関する研究等に関して、要素技術からの適用システムに至る研究開発を推進する。
RFIDタグによる図書館運用に関する調査研究	藤崎 清孝(システム情報科学研究院助教授) 井上 創造(研究開発室助教授)	図書館業務の自動化・省力化等を推進する手段の一つとして、RFIDタグを利用した図書館システムの実用化に関する調査研究を行う。
レファレンス事例検索システムに関する調査研究	竹田 正幸(システム情報科学研究院教授)	附属図書館におけるレファレンス業務支援のために、過去の事例を蓄積し、サービス提供に役立てるためのレファレンス事例検索システムの構築に関する調査研究を行う。九州地区内の大学図書館との連携及び国立国会図書館が推進するレファレンス共同データベース実験事業との連携をも考慮しつつ、今後の電子図書館システムの構成要素のひとつとしてのシステム化を推進する。

III コンテンツ形成・発信に関する分野

図書館における著作権問題に関する調査研究	黒澤 節男(研究開発室特別研究員)	図書館における著作権問題を多角的に調査研究するとともに、今後、電子図書館システムの構築や図書館資料の電子化・発信を行う場合の個別事例に係る著作権問題について調査研究を行う。
貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する調査研究	今西裕一郎(人文科学研究院教授)	本学が所蔵する貴重資料等の画像データベース及び書誌データベース作成に当たっての対象資料の選定、データ作成方法、検索システム、表示方法等についての調査研究を行う。
貴重古医書のデータベース化及び医史的、書誌学的な調査研究	Wolfgang Michel(言語文化研究院教授)	保存図書館に所蔵される医学部蔵書の内、16-19世紀の古医書について、書誌データベース及び画像データベースの作成及び公開方法についての調査研究を行うとともに、コレクションとしての医史的及び書誌学的な調査研究を行う。

職員研修

きゅうとステップアップ研修

平成18年度より、職員の知識の深化および能力・資質の向上を図るため、「きゅうとステップアップ研修」を開始、以下のプログラムを実施しました。

■知ろう!きゅうとサービスコンテンツ

◆情報検索から入手まで

【内容】目的に応じた検索ツールの選択・効果的な検索・入手方法等実習形式で行う

- [第1回] 10/11 CiNii
- [第2回] 12/12 医中誌WebからMedical Online Library
- [第3回] 2/21 ProQuest

■サブジェクトライブラリアン序説

◆図書館Web勉強会

【内容】図書館のWeb環境にまつわるトピックを取り上げて知識を深め、これからの図書館サービスを考える、ゼミ形式の勉強会

- [第1回] Googleと図書館
- [第2回] RSSと図書館サービス
- [第3回] SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)
- [第4回] RSS/SNS その2 事例発表と図書館への可能性
- [第5回] 図書館コミュニティ-図書館とSNSとの連携-

◆ラテン語古刊本書誌作成研修会

【内容】九大所蔵のラテン語古刊本のタイトルページを読み解くゼミ形式の研修会。(平成4年より継続・途中4年間休会)。関係部局の大学院生も対象とする。

- [第1回] 7/25 「ローマ法大全」フィレンツェ写本の謎と刊本(西村先生の講義)
- [第2回] 9/29 中央図書館所蔵「Hoc volumine continentur, Macrobij interpretatio in somnium Scipionis a Cicerone confictum」(1515年)の書誌作成について
- [第3回] 12/11 中央図書館所蔵「Euripidou τραγωδία ιθ = Euripidis tragoediae XIX,」(1571年)の書誌作成について
- [第4回] 3/2 中央図書館所蔵「Ioan. Petri de Ludewig, Fridericianae cancellarii, Singularia iuris publici Germanici Imperii, tomo I. habentur a) principia eius vera et spuria ... nova ratione fideque diplomatum et medii aevi monumentis adornata, instar Conringii De finibus Imperii librorum commentarii」(1730年)の書誌作成について

◆漢籍講習会

【内容】漢籍の成立、伝播、分類法や文化に果たした役割などについて、総合的に学ぶ講習会(平成15年度より継続・2年を1サイクルとして実施)。関係部局の大学院生も対象とする。

- [第6回] 5/26 中国清代の漢籍(一)
(講師:竹村 則行 人文科学研究院教授)

- [第7回] 7/14 中国清代の漢籍(二)
(講師:竹村 則行 人文科学研究院教授)

- [第8回] 9/22 中国明代の漢籍(一)
(講師:柴田 篤 人文科学研究院教授)

- [第9回] 11/16 中国明代の漢籍(二)
(講師:柴田 篤 人文科学研究院教授)

- [第10回] 2/9 漢籍目録の電子情報化
(講師:西山 猛 言語文化研究院助教授)

■Toics2006

◆RefWorks講習会

【日程】平成19年2月2日(金)

【内容】新規導入したWeb文献管理ツール「Refworks」の利用講習会

図書系職員初任者研修

新任図書館職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

【日程】平成18年5月22日(月)～26日(金)

【対象】平成18年度採用の図書系職員

- 【プログラム】
- 5/22 九州大学附属図書館の将来構想
九州大学附属図書館の概要
中央図書館見学
 - 5/23 閲覧サービスの基本
カウンター実習
九州大学附属図書館の改革
 - 5/24 九州大学統合移転と新図書館構想
文献検索実習
e-Resource概要
機関リポジトリの概要
図書館サービスの現在とこれから
研究開発室の概要と研究開発
 - 5/25 図書館業務システム概要
ILL業務概要/ILL実習
図書業務概要/図書目録実習
 - 5/26 雑誌業務概要/雑誌受入実習

目録システム地域講習会(図書コース)

全国総合目録データベースの構成・内容・入力基準の習得を目的とした3日間の講習会を、国立情報学研究所との共催で開催しました。講習生から、実務上での疑問点などが出され活発な質疑応答がありました。

【日程】平成18年6月14日(水)～16日(金)

【対象】本学及び近隣大学図書館の目録業務担当者

統計=利用サービス=

平成18(2006)年度

		中央図書館 Central Lib.	医学分館 Medical Lib.	芸術工学分館 Design Lib.	筑紫分館 Chikushi Lib.	六本松分館 Ropponmatsu Lib.	理系図書館 Sci. & Tech. Lib.	文系合同図書館 Human. & Soc.Sci.Lib.	合 計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday	241	243	234	240	237	218	226	1,639
	土曜 Saturday	49	46	34	49	48	44	38	308
	日曜・祝日 Others	63	64	7	0	63	0	0	197
	合 計 Total	353	※ 353	275	※ 289	348	262	264	2,144
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties	14,025	18,361	2,100	605	3,046	2,910	9,175	50,222
	学 生 Students	293,836	140,113	32,531	39,434	236,264	74,161	21,409	837,748
	学外者 Others	52,912	10,369	1,768	978	5,491	3,762	555	75,835
	合 計 Total	360,773	168,843	36,399	41,017	244,801	80,833	31,139	963,805
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties	7,143	3,528	4,959	942	12,234	1,808	14,542	45,156
	学 生 Students	60,972	15,621	22,197	4,688	37,409	12,599	28,755	182,241
	学外者 Others	933	572	292	0	0	230	0	2,027
	合 計 Total	69,048	19,721	27,448	5,630	49,643	14,637	43,297	229,424
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties	3,400	1,654	3,374	486	4,349	938	4,676	18,877
	学 生 Students	31,314	9,523	9,296	2,651	21,347	6,980	12,103	93,214
	学外者 Others	604	419	189	0	0	102	0	1,314
	合 計 Total	35,318	11,596	12,859	3,137	25,696	8,020	16,779	113,405
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)	8,463	24,409	529	-	-	-	-	33,401
	学外からの受付(国外) Requests(International)	81	1	0	-	-	-	-	82
	合 計 Total	8,544	24,410	529	-	-	-	-	33,483
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)	3,752	2,906	378	307	1,190	-	-	8,533
	学外への依頼(国外) Received(International)	60	15	0	0	5	-	-	80
	合 計 Total	3,812	2,921	378	307	1,195	-	-	8,613
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)	1,607	32	196	0	412	-	-	2,247
	学外からの受付(国外) Borrows(International)	0	0	0	0	0	-	-	0
	合 計 Total	1,607	32	196	0	412	-	-	2,247
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)	1,079	37	107	40	524	-	-	1,787
	学外への依頼(国外) Loans(International)	0	0	0	0	0	-	-	0
	合 計 Total	1,079	37	107	40	524	-	-	1,787
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties	401	6,213	50	33	5,423	93	327	12,213
	学 生 Students	1,754	3,010	211	113	893	2,074	2,536	8,055
	学外者 Others	885	1,058	84	16	143	92	1,227	2,278
	合 計 Total	3,040	10,281	345	162	6,459	2,259	4,090	26,636
	所在調査 Holdings	596	6,848	114	64	5,291	434	3,272	13,347
	事項調査 Topics	300	238	54	14	983	16	205	1,605
	利用指導・その他 Instructions /Others	2,144	3,195	177	84	185	1,809	613	7,594
合 計 Total	3,040	10,281	345	162	6,459	2,259	4,090	26,636	

※医学分館・筑紫分館については、ICカード所持者に対し、24時間365日開館した。

電子ジャーナルの利用(主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal package

2006.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	252,713	Nature Site License	81,373
American Institute of Physics (AIP)	34,314	ProQuest Academic Research Library	10,871
American Physical Society (APS)	33,598	ProQuest Health & Medical Complete	6,835
Blackwell Synergy Full Collection	60,129	SpringerLink	61,040
Elsevier Science Direct Freedom Collection	703,739	Taylor & Francis	15,655
Journals@Ovid	4,884	Wiley InterScience	114,814
Karger	9,593	合計 Total	1,389,558

情報検索サービスの利用(各サービス・文献情報データベースの検索回数)

Databases

Searches in major databases

2006.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	分野 Discipline	検索回数 Searches	種別計 Subtotal
きゆうとサービス Cute services	きゆうとOPAC (九大所在情報)		1,740,428	2,507,341
	きゆうとE-Journals (電子ジャーナル集)		395,339	
	きゆうとLinQ (リンクリゾルバ)		333,856	
	きゆうとMyLibrary (図書館ポータル)		37,718*	
文献情報 Abstracts & index databases	Web of Science / Web of Knowledge	全分野	310,313	874,750
	CiNii (2006.4~)	CiNii	162,194	
	SciFinder Scholar	化学	158,645	
	MEDLINE / Ovid	医学	93,286	
	Scopus	全分野	53,388	
	医中誌Web / 医中誌Web	医学	26,407*	
	EBM Reviews / Ovid	医学	23,685	
	PsycINFO / Ovid	心理学	20,902	
	Current Contents Connects / Web of Knowledge	全分野	8,044	
	Econlit / Ovid	経済学	6,510	
	CINAHL / Ovid	看護学	6,023	
	ERIC / Ovid	教育学	5,353	
インパクトファクター Impact factor	JCR / Web of Knowledge	(自然科学系のみ契約)	46,840	46,840
事典類 References	Gale Virtual Reference Library		1,179	2,729
	ネットで百科(2007.3で終了)		1,550*	

*は、セッション数

学内配送サービスの利用(図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成18(2006)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	医学分館 Medical Lib.	六本松分館 Ropponmatsu Lib.	芸術工学分館 Design Lib.	筑紫分館 Chikushi Lib.	理系図書館 Sci. & Tech. Lib.	計 Total
中央図書館 Central Lib.			1,034	504	4,773	1,338	577	828	9,054
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.		1,108		140	1,736	408	47	98	3,537
医学分館 Medical Lib.		549	135		565	173	81	105	1,608
六本松分館 Ropponmatsu Lib.		4,253	1,831	326		849	217	457	7,933
芸術工学分館 Design Lib.		1,165	436	183	831		180	246	3,041
筑紫分館 Chikushi Lib.		486	38	51	339	178		270	1,362
理系図書館 Sci. & Tech. Lib.		989	121	121	561	229	262		2,283
計 Total		8,550	3,595	1,325	8,805	3,175	1,364	2,004	28,818

統計=基盤サービス=

図書・雑誌(冊子体)の受入

Current acquisitions of materials

平成18(2006)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館	中央図書館 Central Library	5,453	337	5,790	2,445	307	2,752
	理学研究院 Faculty of Sciences	921	1,356	2,277	445	508	953
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	147	1,624	1,771	58	465	523
	農学研究院 Faculty of Agriculture	1,836	2,570	4,406	2,028	1,063	3,091
	小計 Central Library Total	8,357	5,887	14,244	4,976	2,343	7,319
医学分館	医学分館 Medical Library	1,008	343	1,351	677	600	1,277
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	473	412	885	40	33	73
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	21	119	140	17	22	39
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	14	8	22	5	9	14
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	18	61	79	0	4	4
	病院(医・歯・生医研) University Hospital	76	124	200	199	131	330
	小計 Medical Library Total	1,610	1,067	2,677	938	799	1,737
芸術工学分館 Design Library	2,295	418	2,713	504	153	657	
筑紫分館	筑紫分館 Chikushi Library	914	759	1,673	326	60	386
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	83	29	112	25	7	32
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	1	1	18	19	37
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	16	3	19	2	2	4
	健康科学センター Institute of Health Science	30	7	37	327	19	346
	小計 Chikushi Library Total	1,043	799	1,842	698	107	805
六本松分館	六本松分館 Ropponmatsu Library	3,104	339	3,443	850	164	1,014
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	3,757	656	4,413	193	63	256
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	1,137	645	1,782	28	113	141
	小計 Ropponmatsu Library Total	7,998	1,640	9,638	1,071	340	1,411
理系図書館	理系図書館 Science and Technology Library	8,552	1,720	10,272	78	6	84
	工学研究院 Faculty of Engineering	380	481	861	261	271	532
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	453	386	839	104	106	210
	小計 Science and Technology Library Total	9,385	2,587	11,972	443	383	826
文系合同	文学部 School of Letters	6,452	1,582	8,034	3,263	438	3,701
	教育学部 School of Education	800	369	1,169	939	151	1,090
	法学研究院 Faculty of Law	3,866	2,050	5,916	718	350	1,068
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,968	1,234	3,202	703	319	1,022
	人環 都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	249	146	395	43	42	85
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	13,335	5,381	18,716	5,666	1,300	6,966
記録資料館 Manuscript Library	421	32	453	442	3	445	
情報基盤センター Computing and Communications Center	33	513	546	31	26	57	
合計 Total		44,477	18,324	62,801	14,769	5,454	20,223

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。

(注2) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

(注3) 平成18年度からは、記録資料館は、産業経済資料部門及び九州文化史資料部門を合わせた数値とした。

(注4) 平成18年度からは、「人環環境科学研究所 都市・建築学部門」の統計を、文系合同図書室に含む。

資料費 Expenditures for library materials

平成18(2006)年度
(単位:千円/thousand yen)

		資料費総額 Titles	(うち)図書費 Books	(うち)雑誌・新聞費 Serials	(うち)電子ジャーナル等 Electronic resources
中央図書館	Central Library	536,710	72,303	160,190	296,715
医学分館	Medical Library	108,060	26,153	81,907	
芸術工学分館	Design Library	7,347	3,415	2,634	166
筑紫分館	Chikushi Library	9,242	7,196	2,046	
六本松分館	Ropponmatsu Library	59,640	46,129	13,511	
理系図書館	Science and Technology Library	96,649	37,936	58,713	
文系合同図書室	Humanities and Social Sciences Library	158,394	83,681	60,271	14,417
記録資料館	Manuscript Library	1,507	1,168	123	
情報基盤センター	Computing and Communications Center	8,869	6,017	2,487	
合計	Total	986,418	283,998	381,882	311,298

(注) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上

電子ジャーナル

E-Journals

平成19(2007)年5月1日現在

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)

Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles

30,834

契約タイトル数

Licensed e-Journals

平成19(2007)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	35	LexisNexis Academic	4,102
American Institute of Physics (AIP)	12	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	15
American Physical Society (APS)	8	Nature Publishing Group	22
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	21	Oxford University Press	169
Association for Computing Machinery: ACM Portal	372	ProQuest Academic Research Library	2,348
Blackwell Synergy	768	ProQuest Health & Medical Complete	838
Cambridge University Press	15	Science	1
Cell Press	4	SourceOECD	31
EBSCOhost: Business Source Premier	11,735	SpringerLink	1,199
Elsevier Science Direct	1,578	Taylor & Francis	1,374
IEEE: ASPP Online, POP Online	253	Thieme	3
Institute of Physics (IOP)	11	University of Chicago Press	14
Journals@Ovid	9	Wiley InterScience	462
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	259	World Scientific Publishing	16
Karger	75	その他	525
		合計 Total	26,274

(注) 契約タイトル数は、出版者間の重複を含む延べタイトル数である。

蔵書数

Holdings

平成19(2007)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館	539,857	415,958	955,815	17,650	13,103	30,753
医学分館	137,828	205,034	342,862	3,211	8,379	11,590
芸術工学分館	109,712	49,799	159,511	1,737	970	2,707
筑紫分館	62,437	77,324	139,761	1,511	1,193	2,704
六本松分館	304,208	153,743	457,951	2,845	1,697	4,542
理系図書館	163,142	214,717	377,859	3,070	4,379	7,449
文系合同図書室	765,174	586,309	1,351,483	16,372	8,143	24,515
記録資料館	46,068	3,876	49,944	1,592	52	1,644
情報基盤センター	2,597	8,382	10,979	42	99	141
合計	2,131,023	1,715,142	3,846,165	48,030	38,015	86,045

(注1) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

(注2) 平成18年度からは、記録資料館は、産業経済資料部門及び九州文化史資料部門を合わせた数値とした。

(注3) 平成18年度からは、「人間環境科学研究所 都市・建築学部門」の統計を、文系合同図書室に含む。

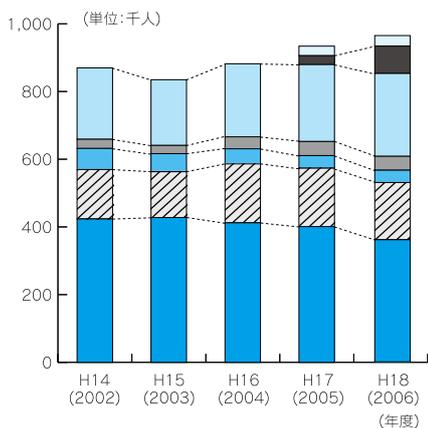
統計=推移と分析=

平成18年度は、理系図書館の工学系移転と、オンラインサービスの充実という要因が、すべての統計に多少なりとも影響を及ぼしたようです。特に、配送サービスや、「きょうとLinQ」・「きょうとMyLibrary」の浸透と機能拡張が、図書館の利用方法に変化をもたらしていることが感じられます。

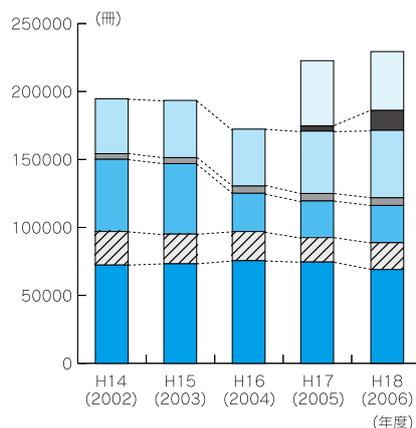


■ 利用サービスの推移

入館者数



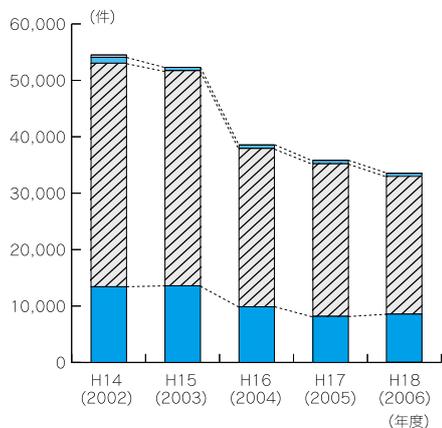
貸出冊数



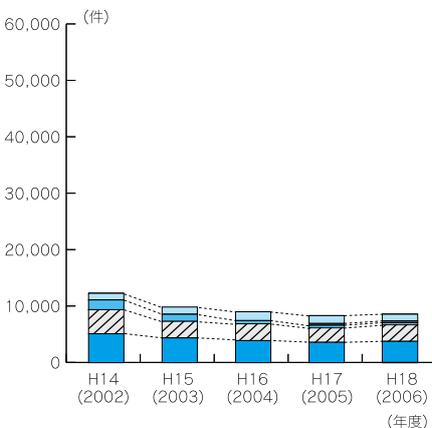
工学系移転完了に伴い、中央図書館の入館者数が減少しましたが、それ以上に、理系図書館の入館者数が増加し、全体として約3万人増加しました。

貸出冊数も同じく理系図書館で増加しました。これは、移転に伴い、工学系資料の集中化が進んだことが要因と考えられます。

文献複写件数【受付】



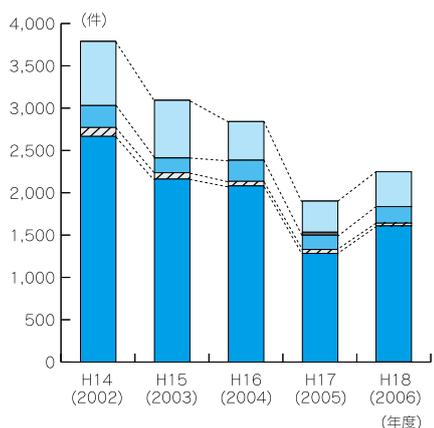
文献複写件数【依頼】



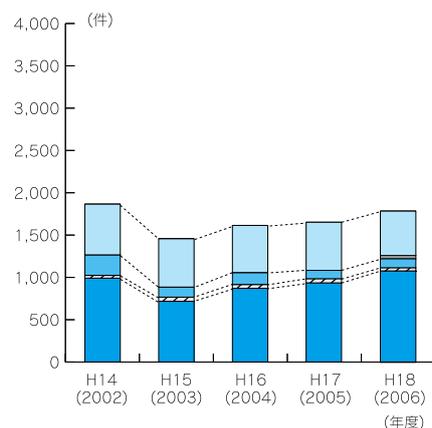
受付(学外機関への文献コピー提供)は、例年どおり減少しています。これは、各大学における電子ジャーナルのアクセス環境が向上していることが要因のひとつと考えられます。

依頼(学外機関からの文献コピー取寄せ)は、18年度わずかながら増加しました。これは、「きょうとMyLibrary」からのオンライン申込が、前年度の60%から今年度73%に増加し、利用者に浸透してきたことが要因と考えられます。

相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】



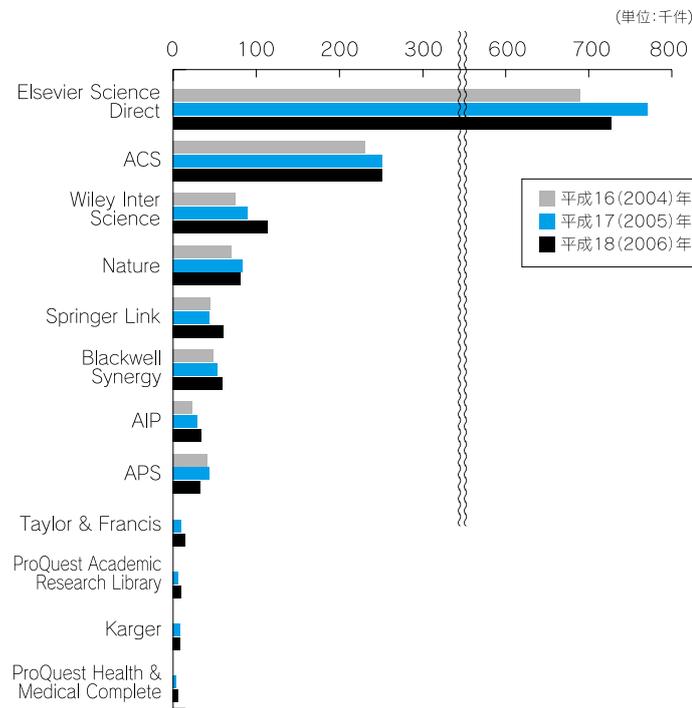
受付(学外機関への図書貸出)、依頼(学外機関からの図書取寄せ)ともに、18年度は件数が増加しました。受付については、移転作業に伴い提供を停止していた理系図書館資料を、18年度より提供開始したためと考えられます。

依頼についても、わずかながら増加しています。これは、文献複写依頼と同様の要因によるものと思われます。

電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

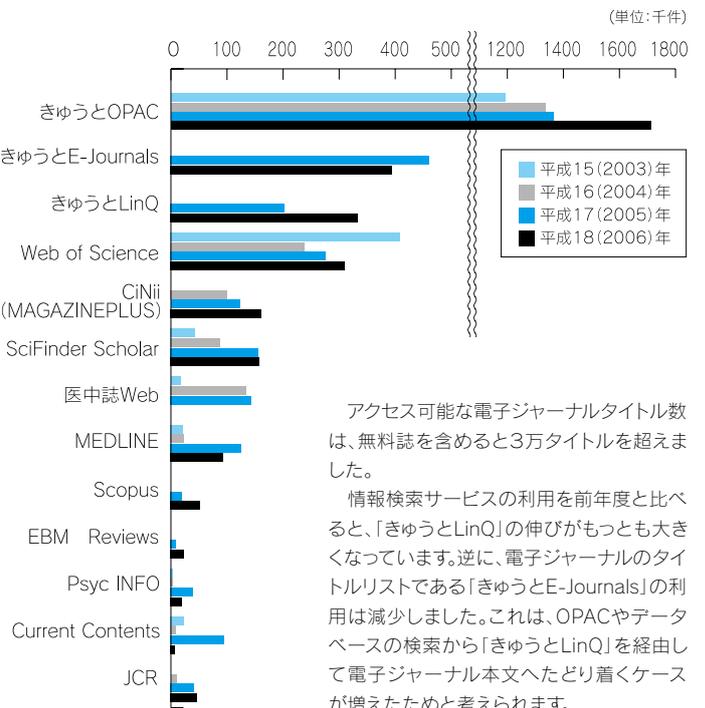
電子ジャーナルの利用

主要パッケージの利用件数



情報検索サービスの利用

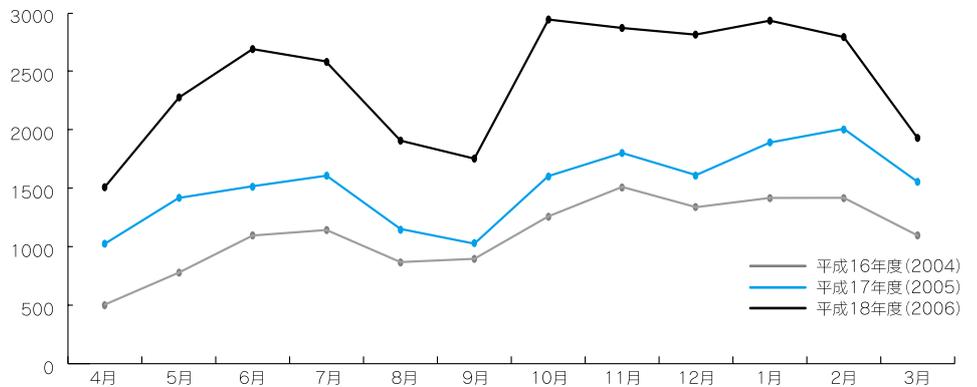
主要データベースの検索回数



アクセス可能な電子ジャーナルタイトル数は、無料誌を含めると3万タイトルを超えました。
 情報検索サービスの利用を前年度と比べると、「きゅうとLinQ」の伸びがもっとも大きくなっています。逆に、電子ジャーナルのタイトルリストである「きゅうとE-Journals」の利用は減少しました。これは、OPACやデータベースの検索から「きゅうとLinQ」を経由して電子ジャーナル本文へたどり着くケースが増えたためと考えられます。

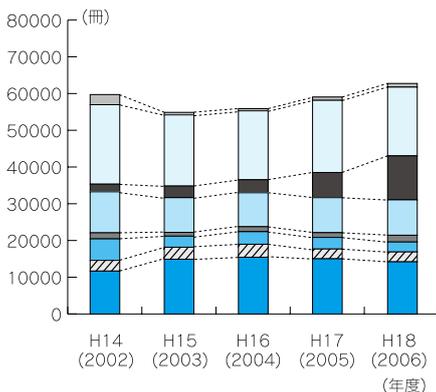
学内配送サービス利用件数の推移

学内配送サービスは、前年度に比べ、毎月平均5割を超える伸びを示しており、運用3年目にあたって利用者に浸透してきたことが伺えます。特に18年度は、理系図書館と各図書館との間での利用が大幅に増加しました。理系図書館での移転資料の整備(図書館への集中化・遊及入力)が進んだこと、伊都キャンパスへの移転が進行し需要が相当に高まったことが、その要因と考えられます。

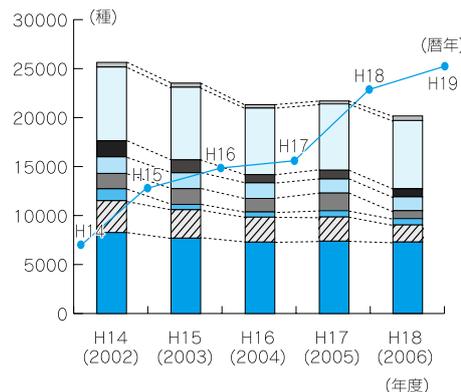


資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数



図書の受入は、理系図書館で急増していますが、これは、移転後の未整理資料の受入に伴うもので、一時的なものと考えられます。

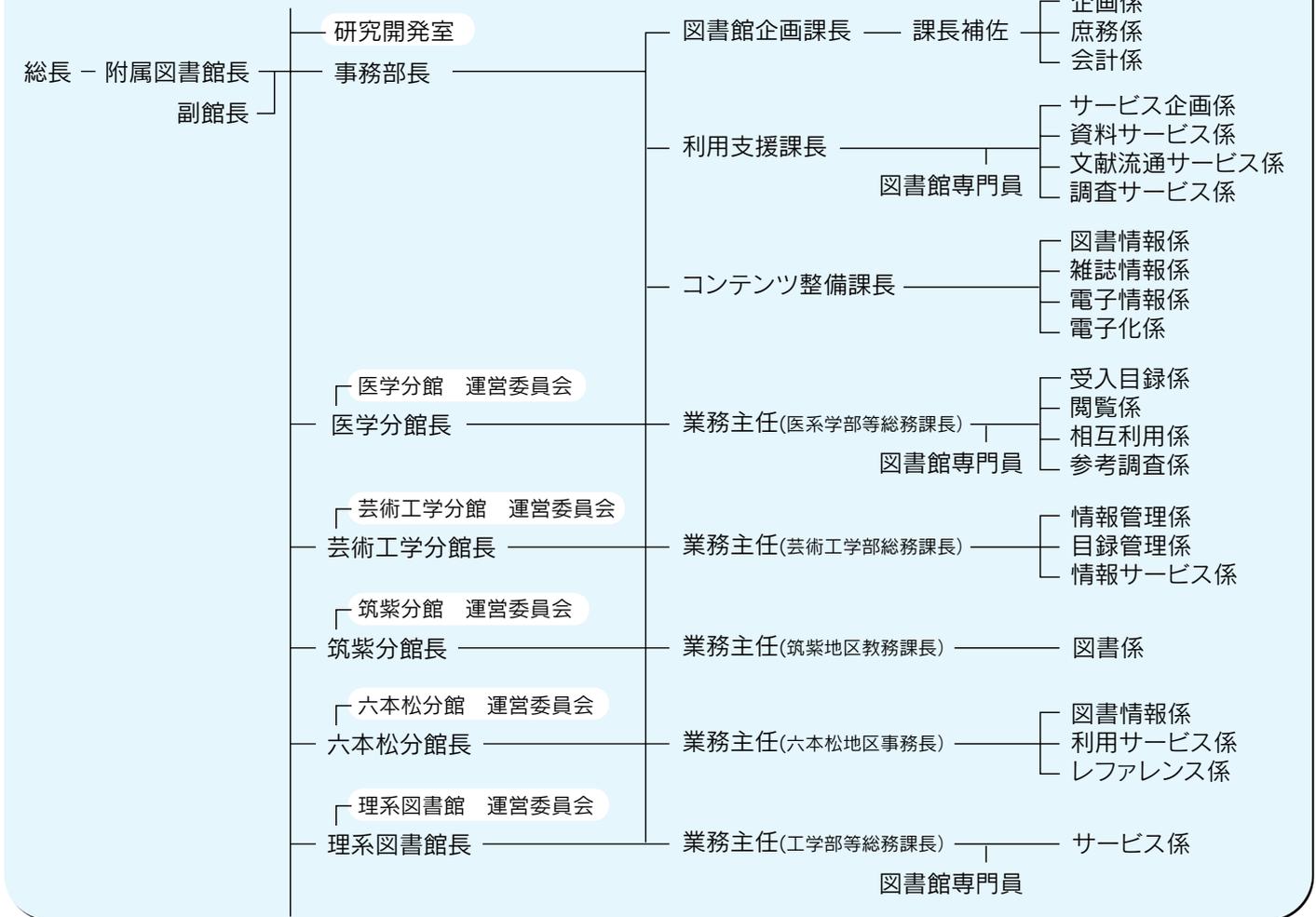
雑誌の受入は、17年度、電子ジャーナル契約タイトル数が冊子体の雑誌契約タイトル数を上回り、18年度はさらに開きが出てきました。冊子体については、特に医学分館と筑紫分館で減少しました。これは、医学分館において、和雑誌の購読を中止(メディカルオンラインライブラリー(医学系の電子ジャーナル)へ移行)したこと、筑紫分館において、各部署の図書室が統合され、各々で受け入れていた寄贈雑誌を一本化したことが大きな要因です。

組織

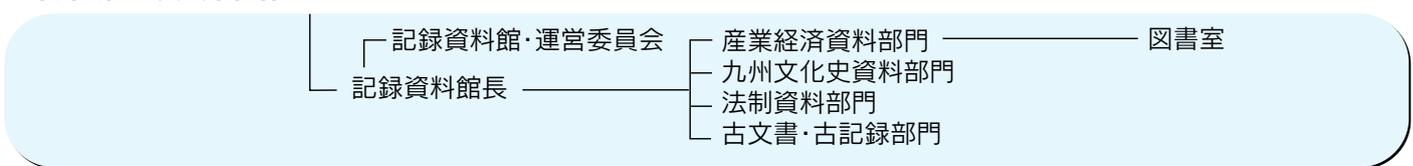
中央図書館及び分館

(平成19年4月1日現在)

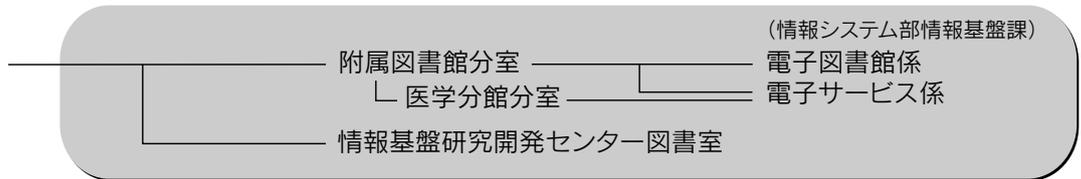
附属図書館商議委員会



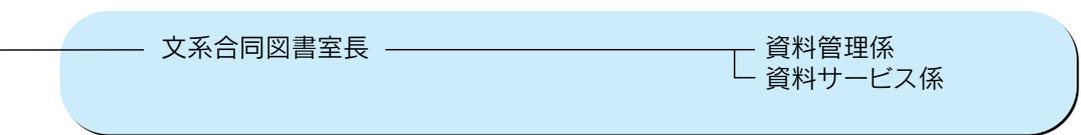
付設記録資料館



情報基盤 研究開発センター



貝塚地区事務部



医系学部等事務部



附属図書館長	有川 節夫	理事・副学長
副館長	荒木啓二郎	システム情報科学研究院 教授
医学分館長	野瀬 善明	医学研究院 教授
芸術工学分館長	片野 博	芸術工学研究院 教授
筑紫分館長	吉田 直亮	応用力学研究所 教授
六本松分館長	有馬 學	比較社会文化研究院 教授
理系図書館長	山本 雄二 (江崎 哲郎	工学研究院 教授 (～2007.3.31) " 2007.4.1～)
記録資料館長	荻野 喜弘 (三輪 宗弘	経済学研究院 教授 (～2007.3.31) 記録資料館 教授 2007.4.1～)
事務部長	濱崎 修一	事務部長

委員長

有川 節夫 理事・副学長・附属図書館長

委員

荒木啓二郎	システム情報科学研究院 教授・副館長	吉田 素文	医学研究院 教授
野瀬 善明	医学研究院 教授・医学分館長	吉村 恵	"
片野 博	芸術工学研究院 教授・芸術工学分館長	中西 博	歯学研究院 教授
吉田 直亮	応用力学研究所 教授・筑紫分館長	山下 喜久	"
有馬 學	比較社会文化研究院 教授・六本松分館長	黒瀬 等	薬学研究院 教授
山本 雄二 (江崎 哲郎	工学研究院 教授・理系図書館長(～2007.3.31) " 2007.4.1～)	財津 潔	"
荻野 喜弘 (三輪 宗弘	経済学研究院 教授・記録資料館長(～2007.3.31) 記録資料館 教授・記録資料館長 2007.4.1～)	荒井 康彦 (川上 幸衛	工学研究院 教授(～2007.3.31) " 2007.4.1～)
村上 和彰	システム情報科学研究院 教授・情報基盤研究開発センター長	新海 征治 (山田 淳	" (～2007.3.31) " 2007.4.1～)
柳原 正治	理事・副学長・留学生センター長	深田 悟 (河辺 哲次	芸術工学研究院 教授(～2007.3.31) " 2007.4.1～)
竹村 則行	人文科学研究院 教授	清須美匡洋 (重松 敏則	芸術工学研究院 教授(～2007.3.31) " 2007.4.1～)
山内 昭人 (濱田 耕策	" " 2007.4.1～)	山下 雅史	システム情報科学研究院 教授
吉田 昌彦	比較社会文化研究院 教授	黒木 幸令 (船木 和夫	" (～2007.3.31) " 2007.4.1～)
清水 靖久	"	経塚 雄策	総合理工学研究院 教授
大場 信恵	人間環境学研究院 教授	桑原 誠	"
稲葉 継雄	"	山下 昭二	農学研究院 教授
酒匂 一郎	法学研究院 教授	伊東 正一	"
渡辺 徹也	"	藤 博幸	生体防御医学研究所 教授
加来 祥男 (田北 廣道	経済学研究院 教授(～2007.3.31) " 2007.4.1～)	鶯野伊津志 (和方 吉信	応用力学研究所 教授(～2007.3.31) " 2007.4.1～)
関 源太郎	経済学研究院 教授	三島 正章	先導物質化学研究所 教授
阿部 吉雄	言語文化研究院 教授	山本 和彦	健康科学センター 教授
田中 俊明	"	濱崎 修一	事務部長
荒殿 誠	理学研究院 教授		
野呂 哲夫	"		
松井 卓	数理学研究院 教授		
佐伯 修	"		

人事

学外へ転出

	異動後	異動前
4.1 大場 秀穂	信州大学附属図書館統括課長	コンテンツ整備課長
4.1 昌子 喜信	長崎大学附属図書館図書情報サービスグループリーダー	企) 企画係長
4.1 山崎 法子	福岡教育大学附属図書館	コ) 図書情報係
4.1 山口 良子	長崎大学学術情報サービス班主査	〃
1.1 瓜生 照久	佐賀大学情報図書館課長	企) 企画係長
1.1 宮地 健士	大阪大学附属図書館情報管理課	理) サービス係

中央図書館

4.1 鈴木 秀樹	コンテンツ整備課長	広島大学図書館部 学術情報サービス課長
4.1 角 彰	企) 課長補佐	筑紫地区会計課課長補佐
4.1 瓜生 照久	企) 企画係長	情報基盤センター電子図書館係長
4.1 福田 聡美	(筑紫地区会計課用度係)	企) 会計係
4.1 坂上和佳奈	企) 会計係	北九州工業高等専門学校会計課
4.1 別府 妙子	利) 文献流通サービス係	コ) 雑誌情報係
4.1 小柳 貴俊	コ) 図書情報係	医) 受入目録係
4.1 吉松 直美	コ) 雑誌情報係	文) 資料サービス係
5.31 馬木木葉子	(退職)	コ) 図書情報係事務補佐員
6.1 長野 ふみ	コ) 図書情報係事務補佐員	コ) 電子化係事務補佐員 (職場復帰)
7.1 天野 美保	〃	
8.31 田坂 孝二	(退職)	利) 資料サービス係事務補佐員 (職場復帰)
9.1 原田真理子	コ) 雑誌情報係事務補佐員	利) 資料サービス係事務補佐員 (職場復帰)
10.1 井上 創造	研究開発室助教授	システムLSI研究センター助手
10.1 池田 大輔	(システム情報科学研究院助教授)	研究開発室助教授
10.3 長野 玲奈	(育児休業)	コ) 雑誌情報係事務補佐員
10.3 田坂 孝二	コ) 雑誌情報係事務補佐員	(採用)
12.7 川元 亜矢	(育児休業)	コ) 電子情報係事務補佐員
12.7 藤村 恭子	コ) 電子情報係事務補佐員	(採用)
1.1 堀 優子	企) 企画係長	企) 企画係
1.1 登坂 明子	企) 企画係	(採用)
3.31 井上 久宏	(定年退職)	利) 図書館専門員

医学分館

4.1 兵藤 健志	受入目録係	利) 文献流通サービス係
4.1 日高 環	閲覧係	(採用)
4.1 山崎 弘人	相互利用係	(採用)
4.1 安武由美子	受入目録係事務補佐員	閲覧係事務補佐員
4.1 田野 信子	閲覧係事務補佐員	受入目録係事務補佐員

芸術工学分館

4.1 江藤 弘史	情報サービス係長	福岡教育大学図書館課図書館サービス係
4.1 相部久美子	情報サービス係	(採用)
4.1 惟永 和宏	情報管理係主任	芸術工学部学務課主任
4.1 花等 誠	(芸術工学部事務部総務課用度係主任)	情報管理係主任
4.1 楠 美喜	(情報基盤センター庶務係)	情報サービス係

筑紫分館

4.1 富田 仁子	(教務課保健係事務補佐員)	図書係事務補佐員
3.31 緒方 義信	(定年退職)	図書係長

六本松分館

4.1 有馬 學	六本松分館長	
4.1 徳元美智子	図書情報係	(採用)
4.1 鳥居 愛	レファレンス係	医) 閲覧係
4.1 古木多恵子	(理学部等事務部財務企画係)	図書情報係事務補佐員
5.1 熊谷 由紀	図書情報係事務補佐員	(採用)

理系図書館

	異動後	異動前
4.1 堀之口廣教	図書館専門員	サービス係長
4.1 諸岡 静児	サービス係長	福岡教育大学附属図書館 図書館サービス係
4.1 大村 明美	サービス係	企) 企画係
4.1 宮地 健士	〃	六) 図書情報係
8.24 青木祐海子	サービス係事務補佐員	(職場復帰)
10.1 岡本 順子	サービス係	工学部等総務課応用理学図書室
10.31 青木祐海子	(退職)	サービス係事務補佐員
1.16 法常 知子	サービス係	(採用)
3.31 山本 雄二	(定年退職)	理系図書館長
3.31 伊藤美智子	(退職)	サービス係
3.31 小西 由里	(退職)	サービス係事務補佐員
3.31 野口 美穂	(退職)	〃

記録資料館

3.31 萩野 喜弘	(定年退職)	記録資料館長
------------	--------	--------

記録資料館 産業経済資料部門

4.1 宮地 英敏	助教授	(採用)
4.1 三浦 壮	助手	(採用)
3.31 松浦みのり	(定年退職)	専門職員

記録資料館 九州文化史資料部門

1.31 坂本 陽子	(退職)	事務補佐員
------------	------	-------

情報基盤センター

4.1 青木 良秀	電子図書館係長	有明工業高等専門学校 庶務課図書係長
-----------	---------	-----------------------

文系合同図書室

4.1 久原 明美	資料管理係長	芸) 情報サービス係長
4.1 塚本 佳奈	資料管理係	医) 相互利用係
4.1 平良 香	資料サービス係	六) レファレンス係
11.12 三坂 雅子	(育児休業)	資料管理係
12.1 小川 正智	資料管理係	(採用)
3.31 永井 謙	退職	資料サービス係

生体防御医学研究所図書室

3.31 萩尾 美香	(退職)	別府地区研究所係事務補佐員
------------	------	---------------

企) 図書館企画課
 コ) コンテンツ整備課
 利) 利用支援課
 医) 医学分館
 芸) 芸術工学分館

筑) 筑紫分館
 六) 六本松分館
 理) 理系図書館
 文) 文系合同図書室

年間刊行物

附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2005』
(2006)

『九州大学附属図書館研究開発室年報2005/2006』
ISSN: 1881-3542 (2006.6)

『九州大学附属図書館要覧』
(2006.12)

『きゅうとNEWSLETTER Vol.1No.1』
(2006.12)

『国際シンポジウム
「本が繋ぐ近い都市(まち):日韓図書館交流2006」報告書』
(2006.12) ISBN: 978-4-903459-01-1

『きゅうとNEWSLETTER Vol.1No.2』
(2007.2)



付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニュースレター』Vol. 1
(2007.3)

付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書』第28輯
(2007.3)

『エネルギー史研究 —石炭を中心として—』第22号
(2007.3)



所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館: 92)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館: 11)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館: 77)
福岡県図書館協会 副会長(理事): 館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協会(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学分館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

図書館日誌

	全学・箱崎地区	医学分館	芸術工学分館	筑紫分館
4	14 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)公開 26 図書館広報室会議	27 第1回医学分館運営委員会	27 第1回情報検索講習会	
5	11 九州大学開学記念行事貴重文物展示 九州大学附属図書館付設記録資料館設立記念「記憶と記録ー炭鉱(やま)は生きる」(~18日) 14 九州大学開学記念公開講演会「炭鉱(やま)は生きる」, 映画上映「炭鉱(やま)は生きる」 26 きゅうとステップアップ研修: 第1回漢籍講習会 22-26 図書系職員初任者研修 31 図書購入に関する説明会	16 歯学教育コース(JICA)研修員に対する図書館利用オリエンテーション	25 第2回情報検索講習会	30 筑紫分館運営委員会
6	6 陝西師範大学 図書館見学 7 図書購入に関する説明会 8 第1回中央図書館図書資料選定委員会 14-16 目録システム地域講習会 図書コース 15 中央図書館周辺除草等環境整備 19 第2回中央図書館図書資料選定委員会		22 第3回情報検索講習会	6 平日の開館時間を8:30に変更
7	3-4 ライブラリ・コネクトセミナー(東京・大阪) 9 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専門試験 13 九州産業高校 図書館見学 14 きゅうとステップアップ研修: 第2回漢籍講習会 25 きゅうとステップアップ研修: 第1回ラテン語古刊本書誌作成研修会 25-27 台湾大学往訪: 台湾大学善本目録作成のための調査 25 中央図書館係長会議	3 第2回医学分館運営委員会		
8	17 第2回国際シンポジウム「本が繋ぐ近い都市(まち):日韓図書館交流2006」(釜山市) 22 学術講演会「リンクリゾルバに見るweb時代の図書館サービス:きゅうとLinQの評価と展望」 22 電子ジャーナル地区説明会(視聴覚ホール) 29 講演会「Privacy and The Internet デイ」外時代の知的財産保護と知る権利 31 クイーンズランド工科大学(オーストラリア)での実務研修(~H19.2.28)		10 第1回芸術工学分館運営委員会	
9	12 リポジトリ職員説明会(中央図書館) 22 きゅうとステップアップ研修: 第3回漢籍講習会 27 きゅうとステップアップ研修: 第1回図書館web勉強会 29 きゅうとステップアップ研修: 第2回ラテン語古刊本書誌作成研修会	1 医療情報学講習会 8 医学分館周辺除草等環境整備		
10	5 第3回中央図書館図書資料選定委員会 6 学術情報セミナー「Web時代の学術情報利用環境を考える」 11 きゅうとステップアップ研修: 情報検索から入手まで「CiNii」 24 著作権勉強会 24-16 中学生の職場体験学習 25 きゅうとステップアップ研修: 第2回図書館web勉強会			
11	15 broad.campus 実験説明会(中央・六本松・理系) 16 きゅうとステップアップ研修: 第4回漢籍講習会 16-24 海外図書館等視察(アメリカ合衆国) 28 中国新疆大学管理層訪日研修交流団来訪 29 きゅうとステップアップ研修: 第3回図書館Web勉強会			
12	1 海外長期研修(カナダ)(~H19.2.28) 8 監事監査 11 きゅうとステップアップ研修: 第3回ラテン語古刊本書誌作成研修会 12 きゅうとステップアップ研修: 情報検索から入手まで [医中誌webとMedica Online Library] 20 きゅうとステップアップ研修: 第4回図書館web勉強会			
1	25 機関リポジトリ関連シンポジウム等報告会 31 きゅうとステップアップ研修: 第5回図書館Web勉強会			
2	2 きゅうとステップアップ研修: Topics2006「RefWorks講習会」 4-9 海外図書館視察(オーストラリア) 9 きゅうとステップアップ研修: 第5回漢籍講習会 15 九州大学附属図書館・福岡県立図書館共同展示会「熱き時代 アーカイブでよみがえる炭鉱(やま)」(アクロス福岡)(~20日) 18 講演会「炭鉱って何だったのだからーわたしの筑豊ー」 21 きゅうとステップアップ研修: 情報検索から入手まで「ProQuest」 24 会計検査院実地検査	6 第3回医学分館運営委員会		
3	2 きゅうとステップアップ研修: 第4回ラテン語古刊本書誌作成研修会 2 ニューージーランド・ビクトリア大学助教授来館 7 トムソン・サイエンティフィック Web of Knowledge セミナー		19 第2回芸術工学分館運営委員会	

六本松分館	理系図書館	記録資料館	全学会議	関係団体会議等への出席
7-13 新入生対象図書館ツアー				20 九州地区国立大学図書館協会総会(鹿児島) 21 九州地区大学図書館協議会総会(鹿児島)
11-14 開学記念行事「旧玉泉館所蔵考古資料・原爆被害調査報告書展示会」 22 情報検索講習会(OPAC) 29 情報検索講習会(OPAC)			1 第193回図書館商議委員会 20 研究開発室会議 21 全学図書系係長会議	25 外国雑誌センター館会議(東京大学) 25 日本医学図書館協会総会(名古屋市)(~26日) 25 福岡県佐賀県大学図書館協議会総会(久留米工業大学) 26 国立大学図書館協会理事会(東京大学)
	22 寄贈絵画除幕式	30 第6回記録資料館運営委員会		28 国立大学図書館協会マネジメントセミナー(国立情報学研究所) 29 国立大学図書館協会総会(一橋大学)
20 第1回六本松分館運営委員会	18 理系図書館運営委員会		6 第1回人文社会科学系大型研究資料選定委員会 6 学生用図書選定委員会 28 九州大学学術情報リポジトリ専門委員会	22 九州地区国立大学図書館ソフトボール大会 27 福岡県図書館協会理事会(福岡県立図書館)
	1~ 第二期移転開始		13 第2回学生用図書選定委員会 21 第2回人文社会科学系大型研究資料選定委員会	
4 情報リテラシー講習会	6~27 第二期移転に伴う休館 9~ 移転資料装備等作業			28 国立七大学附属図書館協議会(大阪大学)
			10 システム情報科学研究院主任会(QIR説明)	13 九州地区医学図書館協議会総会(長崎市) 16 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(鹿児島)(~17日) 26 国立大学図書館協会秋季理事会(東北大学)
28 第2回六本松分館運営委員会(書面回議)			13 第3回人文社会科学系大型研究資料選定委員会	30 九州地区国立大学図書館館長・部課長会議等
3 ホームカミングデイ(六本松分館の開放)			1 農学研究院紀要学術雑誌編集委員会(QIR説明) 18 拡大役員会(QIR説明)	5 九州地区医学図書館員セミナー(熊本大学)
			29 第194回附属図書館商議委員会	
	1 入館、貸出のデジタルコミュニティ証(ICカード)実証実験開始	9 第7回記録資料館運営委員会 20 第8回記録資料館運営委員会	15 システム情報科学府ファカルティ・ティベロップメント(QIR説明)	
14 第3回六本松分館運営委員会				

平成19年6月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY